

◆ 研究所の出版物 ◆

本所の定期的な出版物には、東京大学生産技術研究所報告、生産研究、東京大学生産技術研究所年次要覧、生研リーフレット、および生研案内がある。

これらの出版物の編集を行うために、教授総会選出の委員長、各部選出の10名の委員、および若干名の専門委員で構成する出版委員会が置かれている。

委員は4月と10月に半数ずつ交替し、出版物のうち特に生研案内は4月選出の委員が、また年次要覧は10月選出の委員がそれぞれ小委員会を構成して編集に当たる。また事務部総務課に出版掛が置かれ、掛長と3名の掛員で出版に関する業務を処理している。以下に各出版物の概要を説明する。

◆東京大学生産技術研究所報告



一応区切りのついた研究を詳細にまとめて発表するためのものである。創刊は昭和25年5月、年間5～6編を不定期に刊行し、通算約300ページをもって1巻とする。この報告を出版するためには、部会の推薦、出版委員会での出版の可決、常務委員会での可決の承認を必要とする。最新刊は35巻3号、通巻224号である。この10年間で発行した46冊の東京大学生産技術研究所報告の一覧表を後に掲げる。

◆東京大学生産技術研究所年次要覧



所の活動の詳細な記録である。その内容は、沿革、研究組織、施設、研究活動、教育活動、機構、職員、予算、研究課題とその内容、業績一覧などである。毎年1回、5月に刊行。第1巻は1952年度版、1988年度版は全●ページ。

◆生産研究



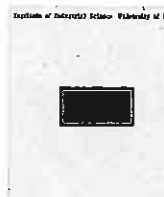
月刊の所報である。研究成果の公表を主目的とし、創刊は昭和24年10月。この40周年誌は、生産研究の41巻5号、通巻476号に当たる。記事の内容は、研究解説、研究速報、調査報告、研究室紹介、生研ニュースなどであり、そのうち研究速報が件数としては最も多い。刊行部数は毎月1700部。大体年2回は特集号である。この10年間の特集号の一覧表を後に掲げる。

◆生研リーフレット



研究成果または開発した設備を個別に簡単に紹介することを目的とするもので、1件当たり通常B5判1葉2ページ。写真や図表を多く用いている。毎年2回、申し出に応じて審議のうえ刊行。創刊は昭和29年。一時発行が中断されていたが、昭和59年より再開。創刊より現在までに180号を刊行。

◆生研案内



見学者などに所の研究活動、機構、スタッフなどを簡単に説明するためのものであって、写真、図表、説明文などを主体としたA4判40ページ程度の印刷物。和文と英文を隔年に交互に刊行。

1984-1985

東京大学生産技術研究所報告既刊号表

(昭和54年度~63年度) (30周年誌以降)

著者名	論文題目	巻・号	発行年月	著者名	論文題目	巻・号	発行年月
福田 敏男 柴田 碧	原子炉システムの異常診断と安定な適応則の応用(英文)	27 9	昭54.11	明智 清明 原 善四郎	金属粉の焼結挙動	30 6	昭58.12
水町 長生 吉識 晴夫 遠藤 敏彦	ラジアルタービンの非定常流特性に関する研究(英文)	28 1	" 12	小林 一輔 魚本 健人 力采 力采	繊維補強コンクリートの力学的諸性質の試験方法に関する研究	31 1	昭59.3
西川 精一 長田 和雄	Cu-Fe合金の時効および復元現象(英文)	" 2	昭55.3	今岡 稔 山崎 敏子 安井 至	3成分系ガラス化範囲(6)b一族元素を含む珪酸塩素	" 2	" 3
原 善四郎 明智 清明	繊維強化金属の抵抗焼結に関する研究	" 3	" 3	山崎 敏子 今岡 稔 安井 至	3成分系ガラス化範囲(7)b一族元素を含むゲルマネート系	" 3	" 12
原 文雄	二相流による構造物のパラメトリック振動—配管と燃料ピン—(英文)	" 4	" 3	村上 周三 出口 清孝	人体に対する強風の力学的並びに熱的影響に関する研究	" 4	昭60.3
斎藤 成一 藤井 陽二 濱崎 幸三 横山 幸三	レーザによる電力用電流・電圧測定装置に関する基礎的研究	" 5	" 3	河村 達雄 西村 和夫	ハイブリッド手法による開閉過電圧に関する研究	" 5	" 3
西尾 茂文	Leidenfrost系における固液接触過程に関する基礎的研究	" 6	" 3	大沢 裕 坂内 正夫	パターン情報の構造化に関する研究	" 6	" 12
松永 正久 秋生田 善明	電着したABSプラスチックの機械的性質・密着力および疲れき裂(英文)	29 1	" 9	戸松 征夫 片山 恒雄	地震危険度解析グラフィックシステム<ERISA-G>—システム開発の概要と解析プログラム—	32 1	昭61.1
斎藤 成一 藤井 陽二 大林 周進 四方 達郎 正村 純一郎 山下 純 松村 文雄	レーザによる大気汚染計測の研究(英文)	" 2	" 10	川井 忠彦 藤谷 義信	現代梁理論に関する二、三の考察(英文)—理論的研究—	" 2	" 3
長谷部 望 座間 知之 長田 和雄 西川 精一	超高周波アンテナの研究	" 3	" 12	高梨 晃一 中島 正愛	オンライン応答実験法の日本における研究状況(英文)	" 3	" 6
原田 隆典 久保慶三郎 片山 恒雄	Cu-Ti合金の時効および復元(英文)	" 4	昭56.1	川井 忠彦 藤谷 義信	現代梁理論に関する二、三の考察(英文)—実用解析法の開発—	" 4	" 8
村井 俊治 奥田 勉 中村 秀至	連続体定式化による地盤と構造物の動的相互作用(英文)	" 5	" 3	木下 健 増田 光一	OWC—ウェールズ・タービン式波浪発電装置のシステム・シミュレーションと最適設計法(英文)	" 5	" 9
谷口 人文 増堤 立男 高橋 和浩	非測定用カメラを用いた解析的写真測量に関する研究	" 6	" 7	村上 周三 森川 泰成	市街地における風環境の確立・統計的評価方法に関する研究	33 1	" 10
増堤 立男 谷口 人文 高橋 和浩	熱量測定による固体表面の酸特性に関する研究	" 7	" 11	前田 久明 木下 健	波浪発電の基礎研究(英文)	" 2	" 11
磯山 龍二 片山 恒雄	熱量測定による固体酸触媒の酸特性に関する研究	" 8	" 12	小林 敏雄 狩野 正徳 石原 智男 佐賀 徹雄	矩形状乱流促進体をもつ二次元チャンネル内乱流のラージエディシミュレーション(英文)	" 3	昭62.3
久保田 敏弘	上水道システムの地震時信頼度評価(英文)	30 1	昭57.2	川井 忠彦 近藤 一夫	ハイブリッド有限要素法による骨組構造の塑性安定解析(英文)	" 4	" 3
谷 泰弘 長尾 高明	リップマンホログラムの特性と応用に関する研究	" 2	" 2	橘 秀樹 矢野 博文	建築音響における音響伝搬特性の計測方法に関する研究	" 5	" 3
三輪 洋司 堤 和男 高橋 浩	切削モデル実験による正面研削の研究	" 3	昭58.1	都井 裕 川井 忠彦	構造物力学における離散化極限解析(英文)—剛体・ばねモデルとはり、平板、骨組、シェル構造の塑性崩壊解析への応用—	" 6	" 9
館 充 張 東 鈴木 吉哉 桑野 芳一 中村 成子	熱量測定によるゼオライトと気体との相互作用に関する研究—COとCu(II)Yの相互作用—	" 4	" 2	都井 裕 川井 忠彦	薄肉構造の離散化極限解析(英文)—平板剛体要素モデルと塑性崩壊、非弾性安定、動的崩壊、クラッシュ問題への応用—	34 1	" 9
	コークスの高炉内における劣化に関する研究	" 5	" 8				

生産研究特集号集

(昭和54年度～63年度)

著者名	論文題目	巻・号	発行年月	特 集 内 容	巻 号 通 巻	発行年月
平川 一彦 神 裕之	半導体超薄膜ヘテロ構造における量子準位と電子伝導 (英文) —選択ドープ n-AlGaAs/GaAsヘテロ接合における電子移動度と高電界電気伝導—	34 2	昭62.10	省資源のための新しい生産技術の開発に関する研究—その2—	32 3 366	昭55. 3
				生産・加工システムの最適化	32 11 374	” 11
柳田 聡 村井 俊治	地図情報の自動抽出と画像表現に関する研究	” 3	昭63. 2	省資源のための新しい生産技術の開発に関する研究—その3—	33 6 381	昭56. 6
				海城・唐山地震の被害と中国の耐震研究	34 1 388	昭57. 1
村上 周三 森川 泰成	風環境工学における風洞模型実験法に関する研究 —風速・風圧の変動性状の再現を中心として—	” 4	” 8	生産・加工システムの最適化	34 6 393	” 6
				光回路とその応用	35 2 401	昭58. 2
橘 秀樹 矢野 博夫	建物の低音性能に関する研究	” 5	” 10	膜工学	35 6 405	” 6
				地盤・構造物系の地震応答および破壊機構	35 9 408	” 9
浜田 幸雄 日高 新人	エキシマレーザー用光学素子の光損傷と残存微小吸収の測定	35 1	” 12	生産・加工システムの最適化	36 2 413	昭59. 2
				破壊現象の研究	36 6 417	” 6
伊藤 雅英 黒田 和男	セメント中のアルカリがコンクリートの諸性状に及ぼす影響	” 2	平1. 3	地盤・構造物系の地震応答および破壊機構	36 9 420	” 9
				乱流の数値シミュレーション	36 12 423	” 12
小林 一輔 小倉 盛衛	がたと摩擦のある2自由度系の強制振り振動に関する研究	” 3	” 3	バイオ関連材料ならびにエンジニアリングの研究と応用	37 8 431	昭60. 8
				生産・加工システムの最適化	37 11 434	” 11
片岡 真澄 大野 進一	がたと摩擦のある2自由度系の強制振り振動に関する研究	” 3	” 3	乱流の数値シミュレーション (NST) その2	38 1 436	昭61. 1
				計算力学	38 8 443	” 8
鈴木 常夫	がたと摩擦のある2自由度系の強制振り振動に関する研究	” 3	” 3	乱流の数値シミュレーション (NST) その3	38 12 447	” 12
				生産・加工システムの最適化	39 6 453	昭62. 6
				乱流の数値シミュレーション (NST) その4	40 1 460	昭63. 1
				生産・加工システムの最適化	40 10 469	” 10
				乱流の数値シミュレーション (NST) その5	41 1 472	昭64. 1
				バイオテクノロジー	41 3 474	平1. 3
				40周年誌	41 5 476	” 5